

沖縄・名護市長選

ありがとうございます。
全国の皆さんの連帯に励まされています。残された期間選挙期間、精一杯がんばります。

米軍普天間基地の返還、辺野古移設反対を訴えた現職の稲嶺進市長が4千票の大差で再選されました。
小矢部市日本共産党後援会と小矢部市委員会は13日に開いた「新春のつどい」で名護市長選挙金を訴え、翌14日、日本共産党沖縄県委員会へ送金しました。
沖縄県委員会から次のお礼のメールが15日に届きました。

辺野古移設反対を掲げた稲嶺進氏が圧勝

日本共産党は1月15日 ホームページからいつでもから18日まで、第26回党大会を開きました。富山県から6名の代議員が出席しました写真。党大会の詳しい内容は今週の「赤旗日曜版」をご覧ください。また、志位委員長の記事と結語などの録画は日本共産党のホームページからいつでもご覧になれます。

第26回党大会



富山県から参加した代議員（前列左から高岡市議選を戦った高瀬充子氏、井上さとし参院議員、衆院選比例北陸信越を戦った藤野保史氏、火爪弘子県議、後列左から平崎功新川地区委員長、反保直樹県委員長、上田俊彦富山地区委員長、泉野和之呉西地区委員長）

上田俊彦氏が新たに中央委員に

特定秘密保護法を廃止に

特定秘密保護法廃案を求める
請願が12月議会に出され、砂田市議はその紹介議員となって奮闘しました。請願者は元小杉町長の土井由三氏、青島明生弁護士など

国家秘密が人命を守る、か？？

この特定秘密保護法は、大臣や警察庁長官が、勝手に秘密を指定できます。そして、何が秘密かも秘密にされます。内閣総理大臣がその秘密指定が妥当かどうかチェックするといいますが、同じ行政府がや

ることですから、決して第三者機関ではありません。（中略）
自民党石破幹事長は「特定秘密が報道された場合について『大勢の人が死にました』という、どうなるのかと脅かしています。

政府の情報隠しで大勢の命を奪った

歴史の教訓

しかし、政府が肝心の情報を隠して大勢の命を奪ったことは歴史の教訓です。日本はかつて、政府の「秘密が報じられないもどで、中国への侵略戦争、アメリカやイギリスをはじめ世界を相手にしたアジア太平洋戦争を行い、日本で310万人以上、アジアで2000万人以上もの犠牲者を出しました。「大本営発表で「勝った、勝った」と戦争をおおった結果どうなったか、広島、長崎への原爆投下、東京大空襲や、「8月2日、天まで焼けた」といわれた富山大空襲などで多くの人の命が奪われました。
ベトナム戦争の全面化につながった1964年の「トンキン湾事件」が

米軍部のねつ造だったことは、ニューヨークタイムズ紙が暴露した米国防総省の機密報告文書「ペンタゴン・ペーパーズ」で明らかになりました。1971年にニューヨークタイムズ紙が米政府の圧力をはねのけて暴露しました。
政府が秘密指定したものが妥当かどうか、主権者である国民がチェックできることこそ、人の命を守る道です。そのためにも国民の知る権利、報道の自由を守らねばなりません。「大勢の人が死ぬ戦争は、真実を覆い隠すことから始まります。石破氏の発言は、歴史をわきまえず、秘密を盾にした報道統制にまっしぐらに突き進む道です。

驕る平家は久しからず

特定秘密保護法は施行まで1年あります。憲法の国民主権、基本的人権、平和主義の原則を踏みにじる違憲立法です。法成立後も反対の声が国民の中に広がっています。安倍自公政権は国会の中では多数かもしれませんが、国民の中では違います。
猪瀬知事が辞任しました。1年前には史上空前の得票を集め、東

京オリンピック誘致決定で得意の絶頂だったが、わずか1年と1日での辞任になりました。
私は「驕る平家は久しからず」という言葉を思い出します。いまこそ、日本国憲法を生かす政治の大道を歩むべきです。特定秘密保護法反対の多数の国民の声を国に意見書として届けようではありませんか。

週刊 明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2014. 1. 26 通巻No.1181

日本共産党 小矢部市委員会

市内七社 245 FAX 67-4842

何でもご相談を

市議会議員 砂田喜昭 Tel. 67-4322

参議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら

地方政治と住民運動の専門誌

議会と自治体

禁無断転載 複写配布